

毎日新聞社賞 **最優秀賞**



札幌市立しらかば台小学校  
保護者と先生の会  
「しらかば」



講  
評

色遣いやレイアウトがすっきりしていて読みやすく、好感が持てました。冒頭の先生紹介は「宝くじ10億円が当たった時」や「無人島に持っていくもの」など意表を突いた質問で、先生の素顔を引き出しています。「すきなもののアンケート&スマホ実態調査」は個性的な企画で、ほかにはない広報紙を目指そうという挑戦的な取り組みに感じます。全12ページのボリュームにも、楽しんで読んでもらおうという意欲があらわれていました。

日本教育新聞社賞 **最優秀賞**



札幌市立太平中学校  
父母と先生の会  
「ザタイヘイ」



講  
評

特集では、コロナ感染症問題を取り上げ、タイトル毎に関連する対策を端的にまとめ、具体的な取り組み方をバランス良く配置し、レイアウトを整え、「読みやすい・分かりやすい・みやすい」の三拍子が見事に揃った説得力のある記事になっています。また四枚の公募写真を巧みに組み合わせた表紙は、インパクトがあり、更に先生方の紹介や学年行事及びPTA活動の各紙面では、アイディア一杯のメッセージ性の強い内容とその全体の構成が高く評価されました。広報部員の皆様の発想の豊かさとし所懸命さが伝わってくる特筆すべき作品といえます。

市P協会賞 **最優秀賞**



札幌市立厚別東小学校  
父母と先生の会  
「かぜのとう」



講  
評

かぜ、飛翔、空に浮かぶ風船、カラフルな色使いとバランスの良い表紙の躍動感がとても印象的で30周年の記念号にふさわしい華やかな雰囲気を持った広報紙です。校舎紹介のページでは各階の図面と写真を使った部屋紹介から学校の様子もよくわかります。また、交通安全指導員さんなどの特集を組んだのも子どもたち、保護者にとって、日常子どもたちを見守る方々の紹介として、コロナ禍で地域との連携が難しかった今、子どもにとっても頼もしい情報を発信したページでした。

# 広報紙まつり全体審査評

広報紙まつり審査委員長を務めていただいた北海道通信社参与の村上直史様より「全体審査評」を寄稿いただきました。

ご応募くださいました広報担当の皆様、お疲れ様でした。そして、受賞された広報担当の皆様、おめでとうございます。3年間にわたるコロナ禍の中にあっても、広報紙まつりが継続でき、また久しぶりに直接お礼や感想をお伝えできる表彰式が行えることになり、大変嬉しく思います。従来からの対面方式のほか、オンラインやLINE等、SNSの情報手段も用いてやり取りするなど、苦勞して一つの作品を作り上げてこられた皆様の心意気に胸を打たれました。今回も個性引き立つ素晴らしい作品ばかりでした。審査委員一同、①PTA活動紹介②企画性・アイディア③全体(見やすさ・読みやすさ)のバランスの3観点で審査いたしました。

### ◎「読みたくなる」がポイント!

ある編集後記に「読みたくなる広報紙づくりを目標に意見を出し合い、役割を分担し、楽しみながら活動しています」とありました。この「読みたくなる」「楽しみながら」が活動の目的すべてを物語っていますし、どの作品にもそれが表れていたように思います。広報紙づくりでは費用対効果が話題になり、「高い予算をかけた割には…」という声も聞きます。ですから、広報紙には見出し・色づかいなど、読んでもらう工夫が必要です。区役所やコミュニティセンターのロビーにある刊行物にも「統一感のある色づかい」「見出しの特集」など「手に取ってもらう」工夫が満載です。広報紙づくりの参考になる部分も多いかと思えます。

### ◎「とても楽しかった」でバトンタッチ!

今回も「旬でリアルタイムな記事」等、興味をひく構成でした。雑誌同様、表紙から「手に取ってみよう」という気持ちになるかが一番の鍵です。テーマを掲げクイズ風にお子さんの写真をアップで、教職員の顔を加工して、学校行事や作品を掲載し、玄関下の角度から撮り見出しを強調、花々や校舎を背景に特集の見出しを強調する等、工夫には枚挙のいとまがありません。広報紙づくりには予算や時間がかかり、学校便りやホームページでも足りるとの指摘もありますが、詳細なPTA活動の状況は、やはり「PTA発」でありたいですし、学校・家庭・地域を結ぶのはPTAの重要な役割の一つでもあります。広報紙への意識変化、世代間ギャップもありますが、今の時代だからこそ「負担の少ない新しい広報スタイル」を目指し、「思ったより楽しかったよ!」と次の方に明るく語り継いでいただき、広報紙づくりの灯を絶やさず、「継続・復活」してくださることを心から願っています。

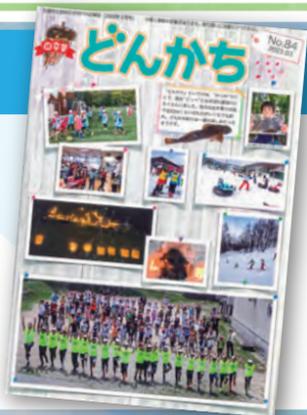
### ◎広報紙復活の「のろし」を上げて!

「学校での顔合わせが減り、横・たてのつながりが薄くなった」と、ある編集後記にありました。これはこの期間の「現場からの真実の声」でしょう。しかし、単Pの活動が自粛・活動停止を余儀なくされた中でも、3年ぶりの広報紙再開との嬉しいニュースも伝わり、「底を打った広報紙づくりが復活する気配・雰囲気・流れ」を私なりに確実に感じ取っています。卒業アルバムで学校の歴史を刻むように、広報紙もPTA活動の歩みを記す重要な一コマです。ぜひ皆さんの力で「復活ののろし」を上げ、「復活のメッセージ」の幕を切ってほしいものです。

ご尽力いただきました市P協広報委員会、役員並びに事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。審査委員長 村上 直史(北海道通信社参与)

毎日新聞社賞 **優秀賞**

札幌市立盤溪小学校  
保護者と先生の会  
「どんかち」



市P協会賞 **優秀賞**

札幌市立平岸西小学校  
保護者と先生の会  
「精進川」



### 札幌市PTA広報紙まつり表彰式

